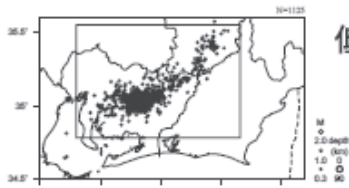


長期的スロースリップ停止後、短期的スロースリップによるモーメント解放は減少

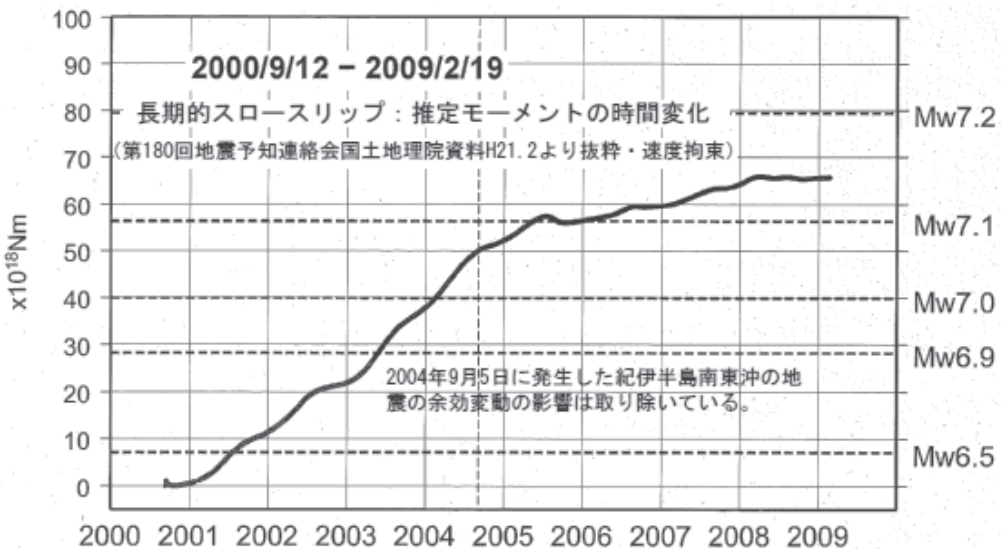
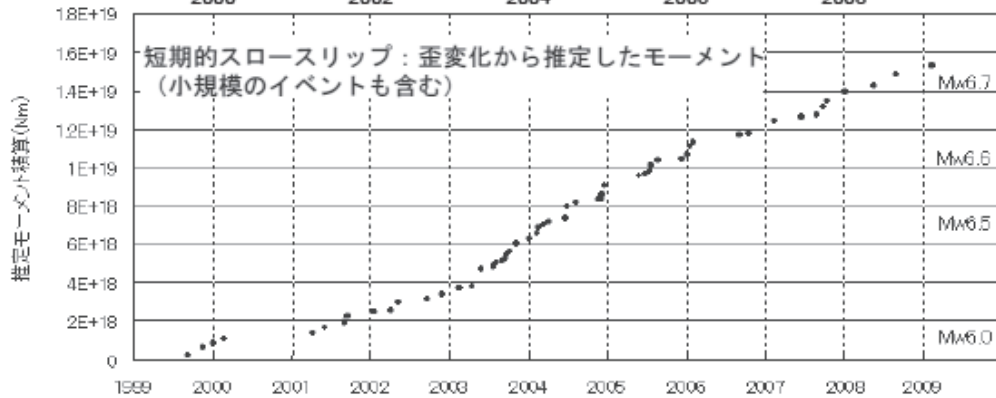
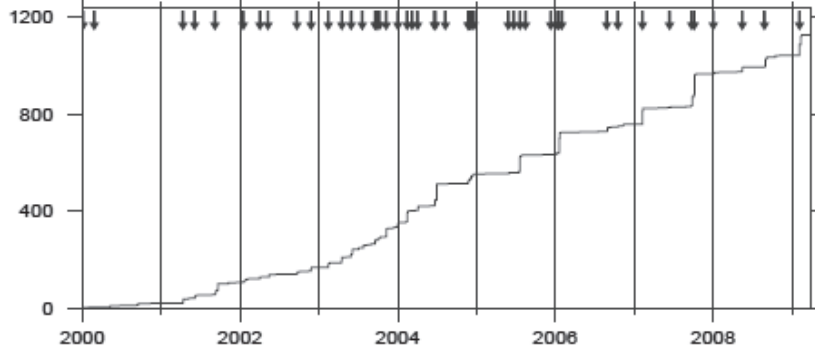
低周波地震の震央分布図



低周波地震活動とスロースリップ
2000/1/1~2009/3/25 M \geq 0.3

矩形内の地震回数積算図

(↓: 短期的スロースリップイベントによる歪変化が見られた時期) [小さな歪変化も含む]



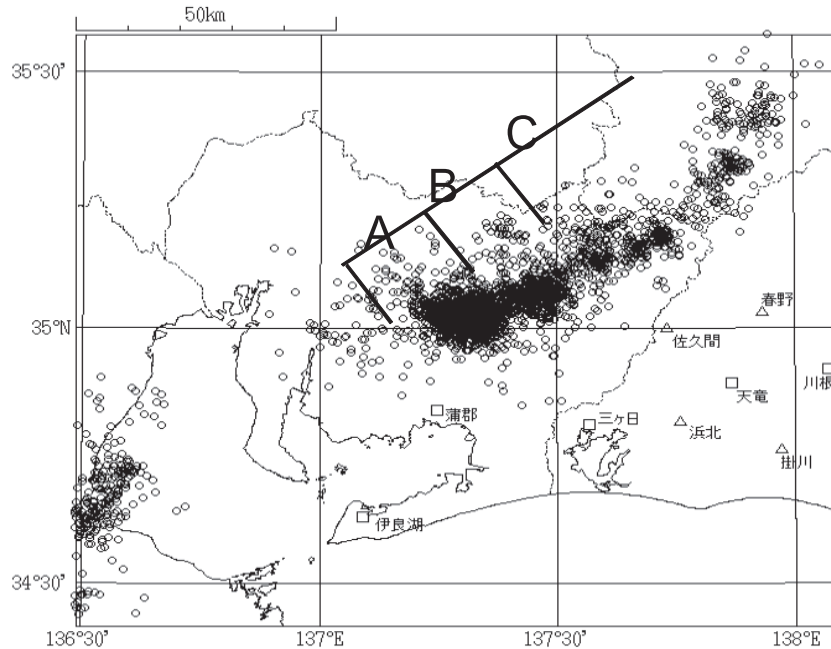
2004 年半ば以降、深部低周波地震のまとまった活動が半年に 1 回しか発生しなくなった。しかし、1 回のまとまった活動での低周波地震回数は多くなった。モーメント解放のスピードは、2003 年半ば~2005 年終わり頃までは速かった。2005 年というのは、長期的スロースリップがほぼ停止した時期に合致。長期的スロースリップと短期的スロースリップのモーメント解放には何らかの関連がある可能性がある。

第 2 図 (a) 歪変化から推定される東海短期的スロースリップのモーメント解放履歴
Fig.2 Moment release of short-term slow slip events estimated by strain changes.

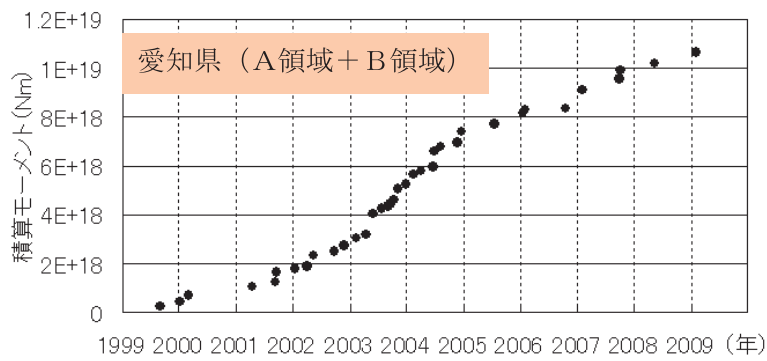
長期的スロースリップ停止後、長野県南部では短期的スロースリップによるモーメント解放が増加
東海地域の低周波地震の震央分布図(1999年9月1日～2008年1月10日)

A,B,C は過去の短期的スロースリップ発生領域

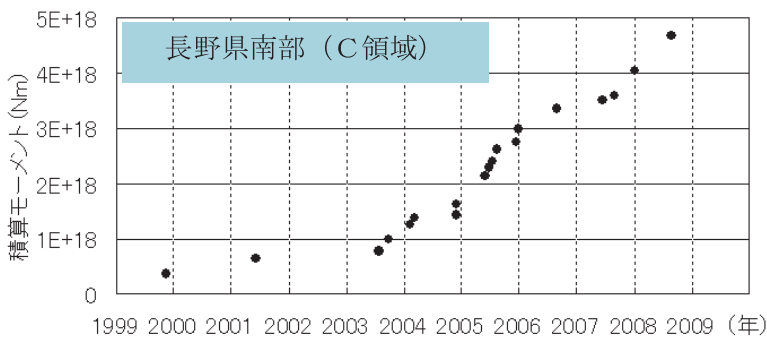
□：体積歪計 △：多成分歪計



推定Mwの中間値を用いたモーメント積算図



愛知県側では 2005 年に入って積算モーメントの傾きが鈍化しているのに対し、長野県南部側では 2003 年以降積算モーメントの傾きが大きくなり、その後も同じ傾向が継続している。



第2図(b) 歪変化から推定される東海短期的スロースリップのモーメント解放履歴
Fig.2 Moment release of short-term slow slip events estimated by strain changes.